

Q.

解析の必要性はわかっているが、とにかく設計者は忙しい。
どんなツールを選べばいいのだろうか？

A. 答えは、ANSYS Workbenchプラットフォーム。
設計者を支援する、最適なCAE環境を提供します。

ANSYS Workbench Platform

開発リードタイムの短縮とコスト削減のため、設計段階でのCAEの利用が急速に拡大しています。しかし忙しい設計者にとって、通常的设计業務に加えて解析まで行うのは大変なもの。設計者を支援するうえで実効性のある強力なツール選びが必要です。ANSYS Workbenchは、マルチフィジックス解析ツール「ANSYS」に標準装備されているプラットフォームです。ANSYSの高度な解析機能と、設計支援のために開発された抜群の操作性が融合しています。忙しい設計現場の声に答える、優れた特徴のいくつかをご紹介します。



設計者の声 01 >> 目的は設計検証だから、CADモデルで解析したい。

3次元CADで作成したモデルをそのまま解析。設計変更もすぐに解析に反映できるため、解析で検証しながら設計作業を行います。さらに最適化機能を使えば、CADのパラメータから自動的に最適寸法を導き出すことも可能。多様な3次元CADに対応しているので、マルチCAD環境でのご利用にも最適です。



設計者の声 02 >> 難しいところはツールに任せたい。だから自動メッシュのロバスト性にこだわる。

専門知識が必要とされるメッシュ作成や、手間のかかる接触領域の定義を全自動処理するので、初心者の方でも安心してお使いいただけます。また、ANSYS Workbenchはメッシュのロバスト性に定評があり、大規模なアセンブリモデルを、丸ごと自動的にメッシュを作成することができます。

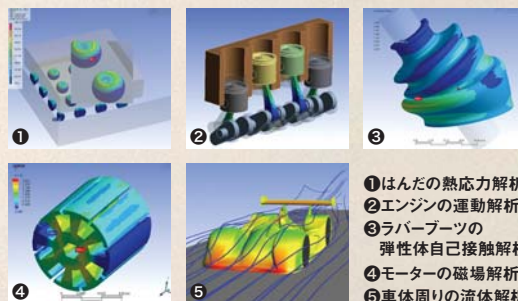


設計者の声 03 >> 操作は簡単で、覚えやすいほうがいい。

初心者向けのウィザードが解析分野ごとに装備されており、スムーズに操作方法を習得できます。

設計者の声 04 >> 設計者だからといって、解析の質では妥協できない。

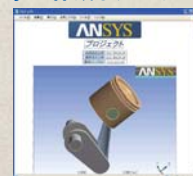
線形／非線形構造、運動、熱、流体、磁場、連成など幅広い分野の解析が、統一された操作環境で利用できます。豊富な実績を誇る業界標準の解析ツール「ANSYS」のソルバーをそのまま利用しているので信頼性も抜群です。



- ①はんだの熱応力解析
- ②エンジンの運動解析
- ③ラバーブーツの弾性体自己接触解析
- ④モーターの磁場解析
- ⑤車体周りの流体解析

設計者の声 05 >> ノウハウ蓄積のための資料は、手間をかけず、でも丁寧に作成したい。

材料や荷重条件、解析結果などを詳しくまとめたHTML形式のレポートを提供。解析画像も自由に挿入でき、ノウハウ蓄積に役立つ、視覚的でわかりやすい資料を手軽に作成できます。



Answer is “ANSYS” ～解析で、答を出す。

サイバネットシステム株式会社
http://www.cybernet.co.jp/ansys/

メカニカルCAE事業部 e-mail: ansalles@cybernet.co.jp
本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町3番地 富士ソフトビル
中部支社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-6-26 富士ソフトビル
西日本支社 〒540-0028 大阪府中央区常盤町1-3-8 中央大通FNビル

Tel: 03-5297-3208 Fax: 03-5297-3637
Tel: 052-219-5190 Fax: 052-219-5970
Tel: 06-6940-3630 Fax: 06-6940-3601

※ANSYSは、米国SAS IP, Inc.の登録商標です。 ※会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

CYBERNET つくる情熱を、支える情熱。